

第15回

くずまき高原牧場 冬まつり



2月1日と2日の2日間、第15回くずまき高原牧場冬まつりがプラトールを会場に開催され、町内外から約2000人が来場しました。

オープニングセレモニーでは来場者全員がホットミルクで乾杯し、餅まきも行われるなどにぎわいを見せました。

1日には第15回雪中綱引き大会を開催。町内外から8チームがエントリーし、優勝

を目指して呼吸と力を合わせて競い合いました。

また、タイヤチューブやそりの滑り台、雪中宝探しには多くの親子連れが訪れ、雪遊びに夢中になりました。

くずまき高原牧場ならではのグルメの提供や高原牛肉などの特売会も行われ、来場者は葛巻町で冬の遊びと食の思い出づくりに浸っていました。

まちなか活性化協議会（吉澤信光会長）主催のまちなか雪まつりは1月26日、ふりしゅで開催されました。

吉澤会長は「近年は暖冬などの影響があるが、まちなかのにぎわい創出に向けてこのイベントを続けていきたい」とあいさつし、来賓あいさつを行った觸澤義美副町長は「この雪まつりは寒さや雪が降るからこそできるイベント

を大満喫！

積雪の影響で急遽会場が変更となりましたが、茶屋場えんぶり保存会による演舞やレシートラリー、甘酒のお振る舞いなどが行われ、来場者は冬ならではの催しを思い思いに楽しみました。



まちなか雪まつり



くずまきの 冬

を大満喫！

第51回 町民 スキー・スノーボード 大会



第51回町民スキー大会、第16回町民スノーボード大会は2月16日、平庭高原スキー場で行われ、小学生から一般までの約40人が参加しタイムを競いました。

大会は年齢別、男女別に大回転で競われ、選手たちは心地よい高原の風を受けながら、華麗にコースを滑走しました。

1月22日、まちなか活性化協議会主催の第17回まちなか雪像コンテストの審査が行われました。町民や町内の団体などが作った雪像は、今年の干支の「巳」や人気キャラクターなど多彩なものに仕上げられ、総出品数139点の中から各賞16点が選出されました。

町長賞を受賞した寺田自治会青年部の作品



第17回 まちなか 雪像 コンテスト

